



ながらの座・座 2013

「deep 大津・unknown 大津」シリーズ

知っているようで知らない・深いまち大津。ナビゲーターとの対話を通して歴史を超えた新たな世界が連続登場するのをみなさまと一緒に楽しみたいと思います。

Part1 三井寺というワンダーランド

第2回 2月16日(土) 13:30~15:30

大津絵・そのひろがりのなぞを解く

話し手: 福家俊彦氏 × 十倉良一氏

三井寺(園城寺) 執事長 京都新聞社 論説委員

よく知られている大津絵、そのルーツは三井寺の「仏画」からと言われています。時代を経て普及するにつれ、藤娘や鬼の寒念仏などの「世俗画」が主流を占めるようになりました。

宗教性と世俗性の両面を持つ大津絵が多くの人々に支持され、広がったのはなぜ? その知られざる歴史やメディア性を今日的な視点でとらえ直します。

福家俊彦氏 (ふけ としひこ)

1959年、大津市生まれ。立命館大学大学院文学研究科修士課程修了。西洋哲学専攻。
現在、天台寺門宗・教学部長、総本山三井寺(園城寺) 執事長。

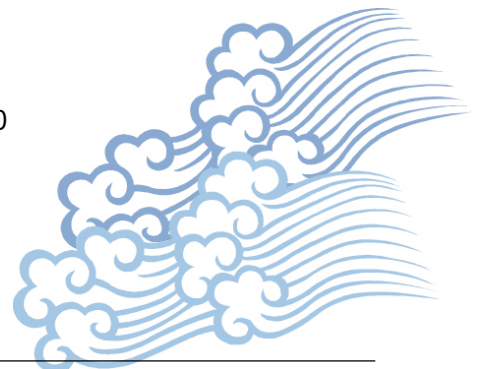
十倉良一氏 (とくら よしかず)

1952年、京都市生まれ。同志社大学文学部卒。京都新聞社入社、社会報道部長、滋賀本社編集局長、論説委員長など歴任。社会部と滋賀本社が長く、長期連載「琵琶湖と共に」で琵琶湖と人の暮らしを追った。現在、シニア嘱託の論説委員。

定員: 30名

会場: ながらの座・座 大津市小関町3-10

参加費: 1500円(茶菓つき)



主催: 元・正蔵坊と古庭園を楽しむ守る会(ながらの座・座)
大津市小関町3-10

ZAZA

申込み: ホームページの申込みフォーム(下記)または住所・氏名・連絡先を記入の上、faxにてお申し込みください。(先着順)
<http://nagara-zaza.net/contact/>
FAX 077-522-2926 / 携帯 090-8576-7999 (橋本)